

## 組織目標評価報告書（平成22年度）

部局名： 教育開発センター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	該当なし(センター業務に記載)	
		達成度: 4 3 2 1
研 究	<p>本学の教育に関する各種アンケート等を継続して実施し現況の把握に努めるとともに、その調査結果を分析し、本学が直面する教育の課題や問題点を明らかにする。</p>	<p>「新入生アンケート」および「卒業予定者アンケート」を実施し、経年変化に主眼を置いて分析した。アウトカム重視の観点から質問項目を改定した「授業評価アンケート」を実施し、授業改善を図った。「岡山大学版教科書に関するアンケート」を実施し、オリジナル教科書の有効性・活用度を検証した。「大学院教育に関するアンケート」を実施し、アンケート結果の分析を開始した。「TAIに関するアンケート」の調査結果を分析し、課題を集約するとともに提言案を作成した。これらのアンケート調査結果の分析に基づいて、本学の学士教育・大学院教育の現状の把握と検証に努めるとともに、明らかになった課題について改善を図った。また、学士教育については「岡山大学における学士力再構築の検討に資するための調査」(進研アド調査アンケート)の調査結果の分析も併せて行い、本学の学士教育上の改善点・問題点の検討に活用した。</p>
		達成度: 4 ③ 2 1
セ ン タ ー 業 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいて学士課程教育を見直し、学士力保証システムを構築する。また、このことを達成するための一方策として、学習到達度を可視化する学士力評価チャートシステムを開発する。</li> <li>大学院修了時まで達成すべき学習目標の明確化を図るとともに、大学院における学力の質保証システムを構築するための取り組みを行う。</li> <li>学士課程教育の構築に係る教養教育の見直しを進めるとともに、全学出席による教養教育の円滑な実施体制を再構築するための取り組みを行う。</li> <li>本学オリジナル教科書を編纂するために専門委員会を設置し、教材としての教科書の課題、改良点、問題点等を持続的に検証する体制を整える。</li> <li>入学後の進路変更(転学部転学科等)の妨げとなっている要因を探り、現行システムの問題点や課題を整理する。また、平成21年度に試行した補習教育を本格実施するとともに、その実施状況を検証し改善を図る。</li> <li>大学教育におけるITの利活用を推進するための取り組みを行う。特に、LMS(WebClassなど)・オンライン学習教材の全学的な利用を促進する。</li> <li>各種公開講座の実施状況を検証し、統廃合を含めた抜本的な見直しに向けて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディプロマポリシーの策定と学士課程教育構築システム(学士力チャートシステムを含む)の試行版を学士課程教育構築ワーキングと協力して完成するとともに、各学部学科のカリキュラムポリシーのあり方・策定方針について検討した。</li> <li>各研究科の現在の教育目標、アドミッションポリシー、カリキュラムについてその内容を集約し、全研究科の教育到達目標等のリスト作成と現状分析を行った。また、各研究科のディプロマポリシー策定に向けて、問題点の把握と解決すべき課題を検討した。</li> <li>第1期中期計画以来検討してきた「学部・大学院連携科目」開設に関する規程の最終案をまとめた。</li> <li>学士課程教育構築の一環として、教養教育のDP要素を策定し各授業科目とDP要素の関連づけを行った。また、教養教育の全学出席体制を再検討するため、情報統括センターの協力を得て、全教員が入力する教員活動評価データから授業担当コマ数等の抽出を行い、各教員の教育に関する負担状況を集約した。</li> <li>教科書専門委員会を設置し、PDCAサイクルを機能させ、持続的に岡山大学版教科書編纂事業の推進と改善を図る体制を整えた。</li> <li>学部間移動、副専攻制度、科目等履修生制度等について現状分析を行い、就職活動の延長のために卒業を延期する学生のキャリアアップへの活用も含めて、副専攻制度の履修者増・活用をさらに検討していくことを決定した。また、補習授業の履修者増を図るための対策を講じた。</li> <li>WebClassやAlic NetAcademy2の利用を促進するため講習会開催の定期化を図った。また、e-ラーニングの利用状況の調査データに基づいて利活用の障害となり得る要因を探った。その結果、e-ラーニングの利用について大きな障害は特になく確認した。</li> <li>本学の全学公開講座を例年通り実施するとともに、社会のニーズ等の検証結果に基づいて「岡山大学公開講座見直し案」を策定した。</li> <li>「桃太郎フォーラムXIII」、「新任転入教員FD研修」、「新入生オリエンテーション担当者研修」、「岡大FDフェスティバル」等を開催し、教職員のFD・SDや教育改善に努めた。</li> </ul>
		達成度: 4 ④ 3 2 1
社 会 貢 献	該当なし(センター業務に記載)	
		達成度: 4 3 2 1

【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。

教育開発センターの業務は大変多岐にわたるが、各部局委員等の協力を得て順調に組織目標を達成できたと評価している。なお、目標の達成に向けた最終的な活動が年度末の繁忙期と重なる傾向があることから、行動計画等の見直しを行い、業務完了の早期化を図る必要がある。

【達成度】4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせ設定した領域・指標により修正してください。